

投票環境の向上に関する検討会（第2回）

日時：平成29年8月23日（水）15時30分～

場所：小倉北区役所 西棟710会議室

次 第

1 開 会

2 委員の変更

3 意見交換

4 閉 会

平成 29 年 8 月 7 日現在

投票環境向上に関する検討会 委員名簿

(敬称略・順不同)

【学識経験者】

山崎 克明 北九州市立大学名誉教授
(会 長)

森 裕亮 北九州市立大学法学部政策科学研究科准教授
(副会長)

【報道関係者】

下 園 和仁 毎日新聞西部本社編集局報道部編集委員

橋本 洋 西日本新聞社北九州本社副代表

【青年層】

佐久間 悠 選挙を考える大学生のつどい (北九州市立大学)

植田 和子 選挙を考える大学生のつどい (北九州市立大学)

【子育て層】

多田 政博 北九州市 P T A 協議会専務理事

【区明るい選挙推進協議会】

大石 紀代子 若松区明るい選挙推進協議会会長
(副会長)

「第1回 投票環境の向上に関する検討会」議事録（要旨）

- 1 日 時 : 平成29年7月19日（水） 16時～17時25分
- 2 場 所 : 小倉北区役所西棟7階 702会議室
- 3 出席者 : (委員) 山崎委員(会長)、森委員(副会長)、大石委員(副会長)、
下菌委員、植田委員、多田委員
(行政委員会事務局) 大下事務局長、松成次長、中川選挙課長、
川原管理担当係長、森選挙担当係長
- 4 議事録 : 以下のとおり

<テーマ1 当日投票所のあり方>

(1) 共通投票所の設置

- ・経費がかかる割にはあまり効果が得られていないように見える。
- ・どこに、何箇所設置するか等も考える必要がある。
- ・全市一斉に導入すると費用負担が大きいため、数年かけて長期的な視点で検討した上で、順次システムを整えてもいいのではないか。
- ・函館市での共通投票所の例（函館市では電話により、本人確認、二重投票防止を実施）を聞くと、手続きに時間がかかり過ぎているようにも思える。トラブル等はなかったのだろうか。
- ・費用対効果を考えると厳しいのではないか。これで投票率の向上に結びつくのか。個人的にはリスクだと考える。

(2) 投票所への移動支援

- ・現時点では北九州ではまだ問題になっていないと思うが、将来的には高齢者の免許返納の圧力が強まってくると思われる。その結果、投票したくてもできない高齢者も増えてくると考えられる。そうした環境を改善する必要があると思う。

<テーマ2 期日前投票所のあり方>

(1) 商業施設等への期日前投票所のあり方

- ・若松区役所と島郷出張所の間で期日前投票所があると便利だという声は耳にする。若松競艇場などでの期日前投票所の開設を検討してはどうか。
- ・選挙人の利便性向上の観点から小倉北区（区役所）、小倉南区（区役所、曾根出張所）の混雑解消に繋がるような期日前投票所の増設はあってもいいのではないかと考える。

(2) 全区対応型の期日前投票所

- ・ 1箇所での利用者数が多い小倉北区のみでの増設とするか、他区も含めた増設とするかは別として、北九州市で最も利用者数が多い小倉駅構内もしくはその周辺にある商業施設で期日前投票所を開設することは効果が高いのではないかと。ただ駅前だと全区対応に堪えられるスペースがないかもしれない。
- ・ 出張所がなく、区役所が駅から少し離れている八幡東区についても、通勤通学、買い物のついでに立ち寄れるような場所での期日前投票所の設置は利便性向上に繋がると思う。

(3) 出張所での期日前投票所の開設時間等

- ・ 東谷や両谷等、利用者の少ない出張所については、一定の線引きの下、例えば1日当たりの平均利用者数に基づいて、開設期間を短くする等、何らかの見直しをしてもいいのではないかと。
- ・ スクラップした場合に特に高齢者等に影響が出る可能性も考えられるので、その際は、例えば移動支援とセットで考えないといけないのではないかと。

<テーマ3 選挙啓発等のあり方>

(1) 若年層への効果的な周知方法

- ・ 20代の投票率より18歳投票率が高いのは、学校での教育のおかげだと思う。
- ・ 主権者教育が重要。投票に行かない親の姿を見て、子どもも行かなくなっている。それを食い止めるのは教育しかないと思う。

(2) 子育て世代への啓発

- ・ 昔は投票に行くことの大切さは親から教え込まれてきた。ただ、最近の親世代は、選挙にあまり関心がなく、今それを家庭でやるようにもっていくことは難しい。学校をうまく活用して啓発するしかないと思う。また、学校で習ったことを家庭で保護者に話すので、保護者への啓発にもなると思う。

(3) 投票者へのインセンティブの付与

- ・ 特段の意見なし。